

# 防災・減災のページ

毎月11日掲載

## 巡回ワークショップ @仙台・市名坂

### むすび塾

東北大震災の経験を踏まえ、2013年10月、同小学校区避難所運営委員会が発足した。特徴は、女性避難者の課題に対応する「女性コーディネート」を配置した点。むすび塾の参加者は指定避難所でもある同小体育館に集められた委員会の分担任や、災害用物資の備蓄状況などを確認した。

語り合えば、震災時、市名坂東町内会の集会所が地域の母親や子どもたちのよりどころになった事例が紹介された。対面キッチンなど子連れの利用者に配慮した設計で、一時、100人近い親子が身を寄せた。地震発生翌日から毎日午前と午後の2回、お茶の時間を設けてコミュニケーションを図るなど工夫を重ねたという。

町内会長の草貴子さん(58)は「元々、転勤族が半数近いエリアで昼間は男性が少ない。地域にいる女性が町内会を担おうと考えると、主婦経験を生かして活動してきた」と説明した。

震災時、集会所のリーダーを務めた高橋敏江さん(52)は「夜泣きする赤ちゃんもいた。小学校高学年の子が小さい子と遊んであげたり、互いに

# 女性の視点 必要性実感

## 避難所運営の在り方議論 イコルネット仙台と共催

河北新報社は10月25日、通算83回目の防災・減災ワークショップ「むすび塾」を仙台市泉区の市名坂小で開いた。NPO法人イコルネット仙台(仙台市)と共催。全役員が女性で、災害対策に積極的に取り組む市名坂東町内会のメンバーら9人が参加した。「女性と防災」をテーマに、震災で直面した問題や今後の取り組みなどを話し合った。



### むすび塾に参加して

### 仙台・市名坂

●児童参加訓練を 市名坂小は女性コーディネートを活用して避難所運営が充実している。訓練に児童も参加し一緒に話を聞く機会があれば、避難所運営の考え方やノウハウが伝わるのではないかと同小校長・阿部恭太さん(60)

●地域に積極的に関与 震災時に仙台市通町小で避難所を運営した際、PTAの女性が中学生を手伝わせて力になった。普段からの地域との関わりが大事だ。地域づくりに役立ちたいと泉区中央市民センター館長・狩野一男さん(63)

●防災仕組み強化 災害時に女性も果敢と役割は非常に大きい。女性を中心とした地域防災の仕組みを強化し、安定した運営を維持できるように後継者も育てたいと市名坂小学校区避難所運営委員会事務局・石川信宏さん(73)

●地域に女性の力 市名坂小学校区では、女性が活躍するための各種取り組みを進めている。女性の力を取り入れた地域体制の確立を目指したいと市名坂小学校区避難所運営委員会女性コーディネート代表・尾崎ミツ子さん(76)

●各自の役目大切 震災時、家族と連絡が付かない中、町内会長の仕事に追われ、パニックだった。気持ちを吐き出せる仲間が救われた。男女の別なく、各自の役目を果たすことが大事だと市名坂東町内会会長・草貴子さん(58)

●話聞く姿勢持つ 震災の時、近所からの声掛けがあった。少くとも恩返しをしたい。困った時、話を聞いてもらえるだけで助かる人もいます。柔らかい気持ちで大切にしたいと市名坂東町内会副会長・畑中文字さん(57)

●嘔吐対応に苦慮 避難所で嘔吐する子どもが続出し、感染を防ぐため帰宅を促すか悩んだ。災害時の病院情報など、普段から母親同士で共有する必要があると震災時の市名坂東町内会集会所リーダー・高橋敏江さん(52)

●支え合いが重要 転勤族の母親が子どもを遊ばせつつ情報交換できる場として「すんだっこ」をつくった。困った時に支え合える人の輪づくりが重要だと市名坂東町内会子育て支援「すんだっこ」世話役・永澤美保子さん(45)

●震災訓練に学ぶ 転勤族で仙台には4年前に引っ越してきた。町内会では震災の具体的な訓練を聞けるので助かっており、日本各地に取り組みが広がってほしいと市名坂東町内会子育て支援「すんだっこ」世話役・田村瞳さん(35)



女性の視点を生かした避難所運営の在り方を議論する参加者

できることに取り組みたりもあつた。市名坂地区では、震災で女性らが直面した問題が次々に吐き出された。この病院に行けばいいの情報がなく苦労した」と振り返った。「授乳ができない」「赤ちゃんの夜泣きがうるさい」といった悩みも共有された。毎年の避難訓練の際に女性コーディネートがイメージトレーニングを重ねている。

女性コーディネート代表の尾崎ミツ子さん(76)は「正解はないかもしれないが、どう解決し仲良くするか。相手に合った対応など、避難所運営に女性の参加は不可欠だと感じたと振り返った。

東町内会は11年11月、子育て支援活動「すんだっこ」を

に縦断、宮城県道35号泉塩釜線が東西に走り、車両の交通量が多いのも特徴だ。学区の両側には七北田川が東西に流れており、川沿いの一部エリアは市の防災マップで洪水浸水想定区域に指定されている。

市名坂小は、人口増に伴って七北田小から分離した小学校の一つで2004年に開校した。児童数は5月現在で554人。市の指定避難所として3300人の収容を想定しているが、大雨の際は2階より上に避難するよう推奨されている。

全役員が女性 市名坂東町内会子育て支援や地域防災に力

むすび塾に参加した市名坂東町内会約170世帯。集会所は、11年3月の東5町内会の一つで、2008年4月の発足以来、全役員が女性で務めているのが特徴だ。女性の視点を積極的に取り入れ、地域の防災力を強化し子育て世代支援を教訓に、子育て支援事業「すんだっこ」も始めた。

市名坂東町内会会長・草貴子さん(58)は「震災時、避難所運営に女性の参加は不可欠だと感じたと振り返った。東町内会は11年11月、子育て支援活動「すんだっこ」を

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。

地域で顔見える関係に

転勤族や子育て世代の多い市名坂地区で女性がまとまり、防災対策を進めてきていることに感謝した。地域の特長を把握し、住民同士が日ごろから連携する必要があると感じた。

石巻市渡波地区にある私寺は比較的高台にあり、地震発生後から多くの地域住民が避難してきた。最大約400人の若者男女を収容した。食事や医療など

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。

むすび塾会場となった市名坂小学校区は仙台市北部の泉区にあり、泉中央地区に隣接する住宅街エリア。今年5月現在で人口約1万、約4800世帯が暮らす。

学区の東側を国道4号が南北に縦断、宮城県道35号泉塩釜線が東西に走り、車両の交通量が多いのも特徴だ。学区の両側には七北田川が東西に流れており、川沿いの一部エリアは市の防災マップで洪水浸水想定区域に指定されている。

市名坂小は、人口増に伴って七北田小から分離した小学校の一つで2004年に開校した。児童数は5月現在で554人。市の指定避難所として3300人の収容を想定しているが、大雨の際は2階より上に避難するよう推奨されている。

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。



市名坂東町内会が開催した防災訓練。消防署員から消火器の使い方などを学んだ=9月

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。

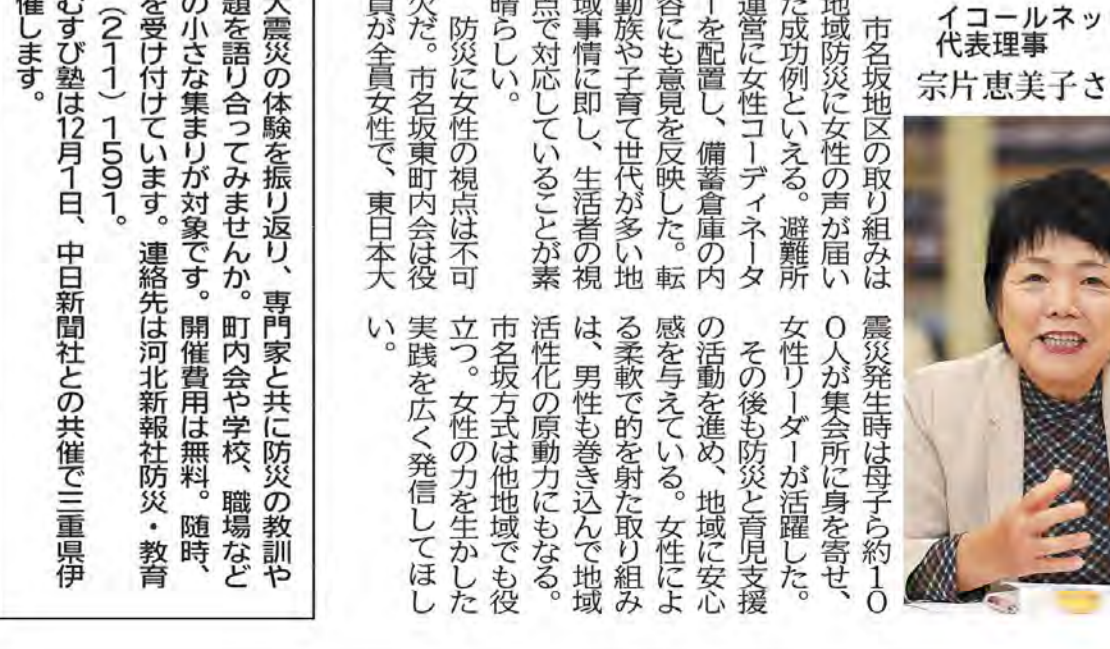


イコルネット仙台代表理事 宗片恵美子さん(69)

市名坂方式 広く発信を

市名坂地区の取り組みは、震災発生時に母子ら約100人が集会所に身を寄せた成功例といえる。避難所運営に女性コーディネートも配置し、備蓄倉庫の内容にも意見を反映した。転勤族や子育て世代が多い地域事情に即し、生活者の視点で対応していることが素晴らしい。

市名坂方式は他地域でも役立つ。女性の力を生かした実践を広く発信してほしい。



市名坂方式 広く発信を